

平成26年度上半期 経営情報

〈平成26年9月末現在〉



つながる信頼、輝く明日のために。

ご挨拶

皆さまには、平素から大阪協栄信用組合をご愛顧賜り、厚くお礼申し上げます。
当組合の平成26年度上半期における経営情報をまとめましたので、
ご理解を深めていただくための資料として、ご高覧賜りたいと存じます。

大阪協栄信用組合は、地域の皆さまに本当にお役に立てる金融機関をめざし、
これまで以上に経営の健全性と基盤強化に努めてまいりますので、
一層のご支援とご指導のほど、心からお願い申し上げます。

平成26年11月吉日



大阪協栄信用組合
理事長 船曳 真吾



経営情報(半期情報の開示について)

平成26年度上半期(平成26年4月1日～平成26年9月30日まで)における経営情報をお知らせいたします。

1

預金積金・貸出金の状況

(単位:百万円)

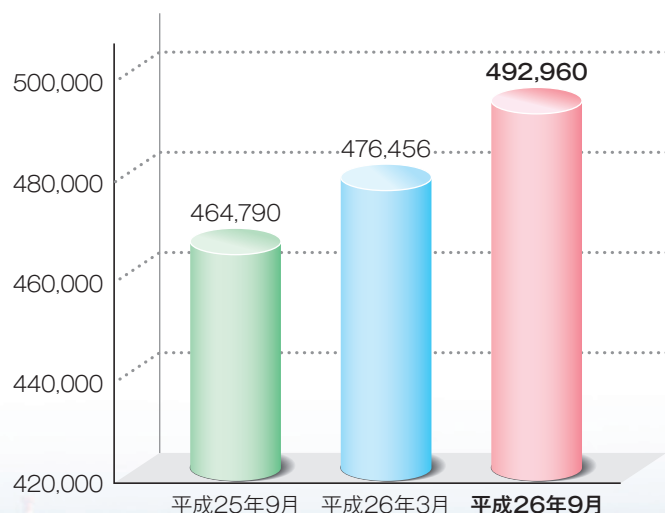
【貸借対照表】

科 目	資 産 の 部	
	平成26年3月期	平成26年9月期
(資 産 の 部)		
現 金	3,099	2,883
預 け 金	59,008	77,805
買 入 金 銭 債 権	—	—
有 価 証 券	181,481	170,243
貸 出 金	272,240	285,091
そ の 他 資 産	2,145	2,077
有 形 固 定 資 産	5,585	5,568
無 形 固 定 資 産	58	51
繰 延 税 金 資 産	1,622	1,131
債 務 保 証 見 返	10	10
貸 倒 引 当 金	△ 8,727	△ 8,580
(うち個別貸倒引当金)	(△ 5,385)	(△ 4,675)
そ の 他 引 当 金	△ 11	△ 11
資 産 の 部 合 計	516,513	536,271

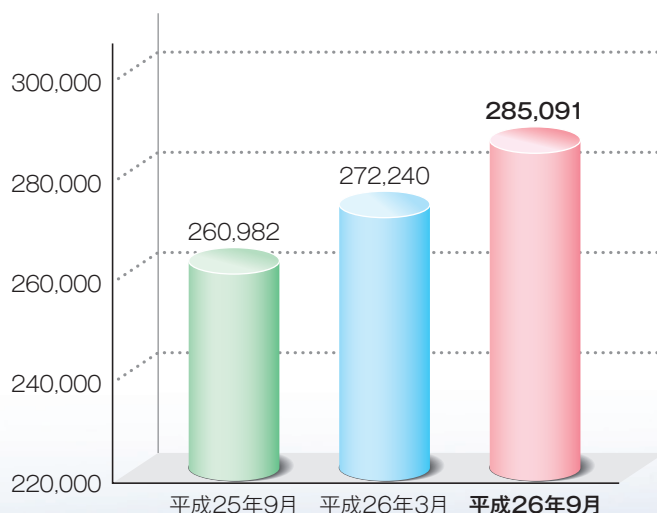
科 目	負 債 及 び 純 資 産 の 部	
	平成26年3月期	平成26年9月期
(負 債 の 部)		
預 金 積 金	476,456	492,960
借 用 金	—	—
そ の 他 負 債	6,196	5,457
賞 与 引 当 金	250	250
役 員 賞 与 引 当 金	23	40
退 職 給 付 引 当 金	210	217
役 員 退 職 慰 労 引 当 金	184	196
そ の 他 の 引 当 金	6	6
再評価に係る繰延税金負債	3	3
債 務 保 証	10	10
負 債 の 部 合 計	483,341	499,142
(純 資 産 の 部)		
出 資 金	11,374	11,381
資 本 剰 余 金	120	120
利 益 剰 余 金	18,643	21,537
組 合 員 勘 定 合 計	30,138	33,039
その他有価証券評価差額金	3,024	4,080
土 地 再 評 価 差 額 金	9	9
評価・換算差額等合計	3,033	4,089
純 資 産 の 部 合 計	33,172	37,129
負債及び純資産の部合計	516,513	536,271

(注)記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。表示における「—」は残高がないことを表し、「0」は表示単位未満の残高があることを表しています。

●預金積金



●貸出金



2

損益の状況

(単位:百万円)

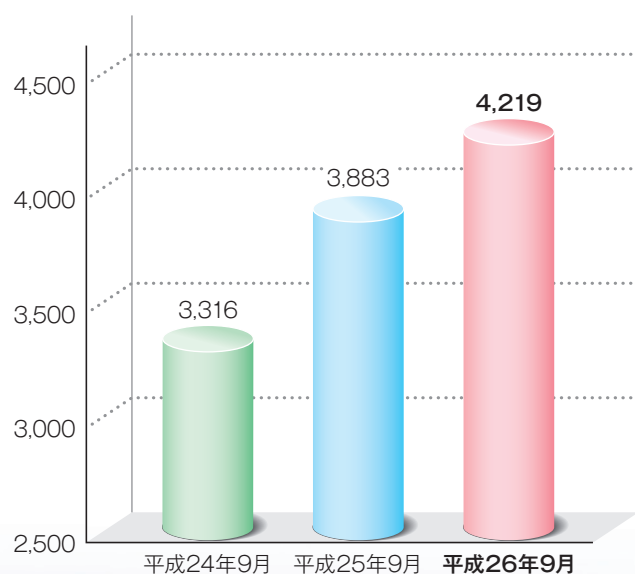
【損益計算書】

科 目	平成25年9月期	平成26年9月期
経 常 収 益	7,442	7,398
業 務 収 益	6,885	7,235
資 金 運 用 収 益	6,176	6,630
(うち貸出金利息)	(4,479)	(4,895)
役 務 取 引 等 収 益	475	554
そ の 他 業 務 収 益	233	51
そ の 他 経 常 収 益	556	162
経 常 費 用	3,099	3,050
業 務 費 用	3,002	3,016
資 金 調 達 費 用	1,537	1,523
(うち預金利息)	(1,535)	(1,522)
役 務 取 引 等 費 用	21	16
そ の 他 業 務 費 用	69	0
経 費	1,374	1,476
そ の 他 経 常 費 用	96	33

科 目	平成25年9月期	平成26年9月期
経 常 利 益	4,343	4,348
特 別 利 益	—	—
特 別 損 失	—	0
税 引 前 当 期 純 利 益	4,343	4,348
当 期 純 利 益	2,983	3,048
業 務 純 益	3,883	4,219
コ ア 業 務 純 益	3,752	4,184
業 務 粗 利 益	5,257	5,695

(注)記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。表示における「—」は残高がないことを表し、「0」は表示単位未満の残高があることを表しています。

●業務純益





自己資本の充実状況

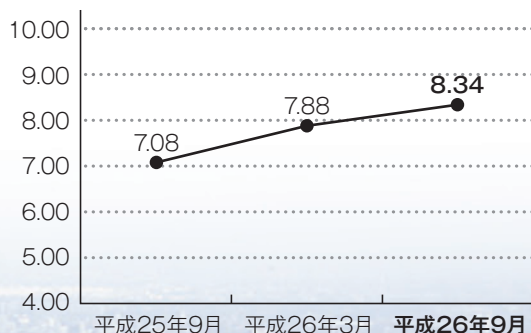
(単位:百万円)

【自己資本の構成に関する事項】

項 目	平成26年3月期		平成26年9月期	
		経過措置による不算入額		経過措置による不算入額
コア資本に係る基礎項目(1)				
普通出資又は非累積の永久優先出資に係る組合員勘定又は会員勘定の額	29,983		33,039	
うち、出資金及び資本剰余金の額	11,494		11,501	
うち、利益剰余金の額	18,643		21,537	
うち、外部流出予定額(△)	154		—	
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	3,341		3,390	
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	3,341		3,390	
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の45パーセントに相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	4		4	
コア資本に係る基礎項目の額(イ)	33,329		36,433	
コア資本に係る調整項目(2)				
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額	—	42	—	37
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	—	42	—	37
コア資本に係る調整項目の額(ロ)	—		—	
自己資本				
自己資本の額((イ)－(ロ)) (ハ)	33,329		36,433	
リスク・アセット等(3)				
信用リスク・アセットの額の合計額	404,909		418,675	
資産(オン・バランス項目)	404,898		418,665	
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	△77,156		△73,268	
うち、無形固定資産(のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)	42		37	
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	△77,207		△73,315	
うち、上記以外に該当するものの額	9		9	
オフ・バランス等取引項目	10		10	
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8パーセントで除して得た額	17,971		17,971	
信用リスク・アセット調整額	—		—	
オペレーショナル・リスク相当額調整額	—		—	
リスク・アセットの額の合計額(ニ)	422,880		436,646	
自己資本比率				
自己資本比率((ハ)／(ニ))	7.88%		8.34%	

(注)記載金額は単位未満を切り捨てて表示しています。表示における「－」は残高がないことを表し、「0」は表示単位未満の残高があることを表しています。

●自己資本比率



4

金融再生法開示債権及び同債権に対する保全額

(単位:百万円、%)

区 分		債権額 (A)	担保・保証等 (B)	貸倒引当金 (C)	保全額 (D) = (B) + (C)	保全率 (D) / (A)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	平成26年3月末	2,184	873	1,311	2,184	100.0
	平成26年9月末	1,617	683	924	1,617	100.0
危 険 債 権	平成26年3月末	8,168	4,110	4,058	8,168	100.0
	平成26年9月末	7,616	3,881	3,735	7,616	100.0
要 管 理 債 権	平成26年3月末	2,130	1,489	518	2,007	94.2
	平成26年9月末	1,932	1,397	469	1,867	96.6
不 良 債 権 計	平成26年3月末	12,484	6,472	5,887	12,360	99.0
	平成26年9月末	11,166	5,962	5,129	11,101	99.4
正 常 債 権	平成26年3月末	260,100				
	平成26年9月末	274,261				
合 計	平成26年3月末	272,584				
	平成26年9月末	285,428				
		金融再生法開示 不良債権比率		平成26年 9月末	平成26年 3月末	増減ポイント (対象年度末比)
				3.91%	4.57%	△0.66

〈平成26年9月末の算出方法〉

1. 債務者区分については原則として平成26年3月末時点における自己査定による債務者区分を基準としております。ただし、4月1日から9月末までに倒産、不渡り等の客観的な事実ならびに自己査定による債務者区分の変更等のあった債務者については、当組合の定める基準に基づく債務者区分見直し後の債務者区分によっております。
2. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」の金額は、債務者区分でいう破綻先及び実質破綻先に該当する債務者に対する債権の合計です。
3. 「危険債権」の金額は、債務者区分でいう破綻懸念先に該当する債務者に対する債権の合計です。
4. 「要管理債権」の金額は、債務者区分でいう要注意先に該当する債務者に対する債権のうち、貸出条件を緩和している債権及び3か月以上延滞している債権の合計です。
5. 「正常債権」の金額は、債務者の財務状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権の合計です。

5

貸出金業種別残高・構成比

(単位:百万円、%)

業 種 別	平成26年9月末		〈参考〉平成26年3月末	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
製 造 業	2,099	0.7	1,598	0.6
農 業、林 業	—	—	—	—
漁 業	—	—	—	—
鉱業、採石業、砂利採取業	—	—	—	—
建 設 業	4,861	1.7	5,250	1.9
電気、ガス、熱供給、水道業	—	—	—	—
情 報 通 信 業	2,662	0.9	2,749	1.0
運 輸 業、郵 便 業	122	0.0	141	0.1
卸 売 業、小 売 業	8,113	2.8	8,192	3.0
金 融 業、保 険 業	1,787	0.6	1,749	0.6
不 動 産 業	200,113	70.2	186,199	68.4
物 品 賃 貸 業	8	0.0	8	0.0
学術研究、専門・技術サービス業	518	0.2	591	0.2
宿 泊 業	21,684	7.6	22,397	8.2
飲 食 業	4,402	1.5	4,945	1.8
生活関連サービス業・娯楽業	11,066	3.9	10,482	3.9
教 育、学 習 支 援 業	—	—	—	—
医 療、福 祉	610	0.2	536	0.2
そ の 他 サ ー ビ ス	18,642	6.5	18,054	6.6
そ の 他 の 産 業	269	0.1	271	0.1
地 方 公 共 団 体	—	—	—	—
雇用、能力開発機構等	—	—	—	—
個人(住宅・消費・納税資金等)	8,129	2.9	9,071	3.3
合 計	285,091	100.0	272,240	100.0

(注) 各計数は、単位未満を切り捨てて表示していますので、合計が一致しない場合があります。

6

有価証券の時価情報

(単位:百万円)

【満期保有目的の債券で時価のあるもの】

	平成26年9月末					〈参考〉平成26年3月末				
	貸借対照表 計上額	時 価	差 額	うち益	うち損	貸借対照表 計上額	時 価	差 額	うち益	うち損
地 方 債	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
社 債	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
そ の 他	3,223	3,308	85	87	1	4,510	4,589	78	95	16
合 計	3,223	3,308	85	87	1	4,510	4,589	78	95	16

【その他有価証券で時価のあるもの】

	平成26年9月末					〈参考〉平成26年3月末				
	取得原価	貸借対照表 計上額	評価差額	うち益	うち損	取得原価	貸借対照表 計上額	評価差額	うち益	うち損
株 式	634	722	88	91	2	—	—	—	—	—
債 券	131,611	135,597	3,985	4,033	47	144,044	147,221	3,176	3,377	200
国 債	6,445	6,753	308	308	—	16,457	16,704	246	247	0
地方債	4,377	4,566	189	189	—	4,381	4,550	168	168	—
社 債	120,789	124,276	3,487	3,535	47	123,205	125,967	2,761	2,961	200
そ の 他	29,102	30,680	1,577	1,613	36	28,717	29,729	1,011	1,290	279
合 計	161,348	166,999	5,651	5,738	87	172,762	176,951	4,188	4,668	479

(注)記載金額は単位未満を切り捨てて表示しています。表示における「—」は残高がないことを表し、「0」は表示単位未満の残高があることを表しています。

7

地域貢献活動と地域密着型金融の推進

●預金を通じた地域貢献

預金は、地域の皆さまの計画的な資産づくりをお手伝いさせていただくため、魅力ある金利を設定した定期預金を主にお取り扱いしております。また、お客さまにより良いサービス提供するため、年に1度お客さま満足度アンケートを実施し、お客さまから頂いた回答をもとに、お客さま満足度の更なる向上を目指し、努力を重ねております。

●融資を通じた地域貢献

スキマ金融とクイックレスポンスにより、中小零細企業の皆さまの資金ニーズに対して、必要な時に必要な金額を積極的かつ迅速にお応えできる体制としております。

●取引先への支援状況等

当組合では、月に1回以上融資取引先企業を訪問し、売上の推移や資金繰り状況を聞き取り、必要に応じ資金支援や経営改善計画の策定の援助、或いは貸出条件の緩和等の申し出に対応するなど、コンサルティング機能の発揮に努めております。

●地域サービスの充実

(1) ビジネスマッチング

大阪府信用組合協会、大阪産業創造館、大阪府下7信用組合が共同して、お取引先企業の販路拡大を目的に、平成26年9月情報誌「しんくみビジネスサポート」9,500部を発刊するとともに、平成26年11月27日に「しんくみビジネスマッチングフェア」を開催いたします。(参加企業30社、当組合から2社参加予定)。

(2) 講演会の開催

大阪府信用組合協会の主催により、平成26年10月16日大阪市中央公会堂に読売新聞特別編集委員の橋本五郎氏を講師に招き、講演会を開催いたしました。大阪府下信用組合のお取引先から多数の出席があり、当組合からも163名のお客さまがご出席されました。

●文化的・社会的貢献に関する活動

(1) 献血運動への参加

平成26年9月5日に行われた大阪府信用組合協会主催の献血運動に参加いたしました。

(2) 集金用連絡袋の無償提供

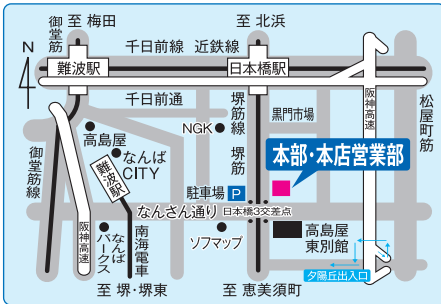
大阪府下・兵庫県下の小学校187校に93,450枚の集金用連絡袋を無償で提供いたしました。

(3) 留学生への奨学金の支給

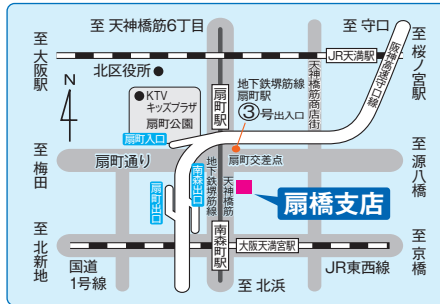
「大阪協栄信用組合留学生奨学金制度」を創設し、ベトナムを中心とするアジアから、当組合指定の日本の大学に在籍する留学生に、財団法人日本国際教育支援協会を通じて奨学金を支給しました。

店舗のご案内

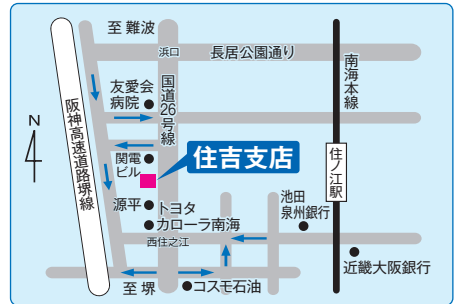
■ 本部・本店営業部



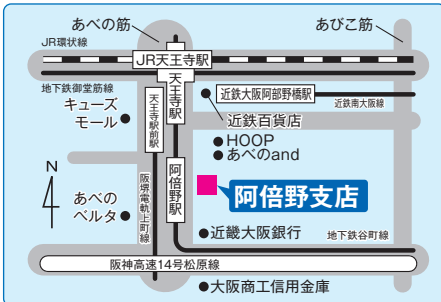
■ 扇橋支店



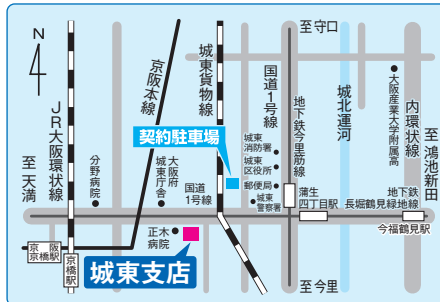
■ 住吉支店



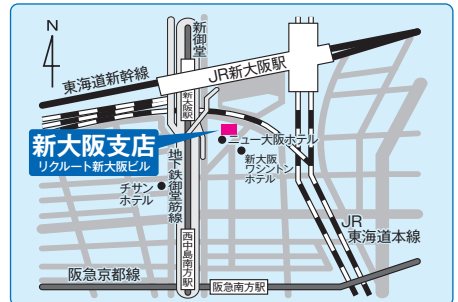
■ 阿倍野支店



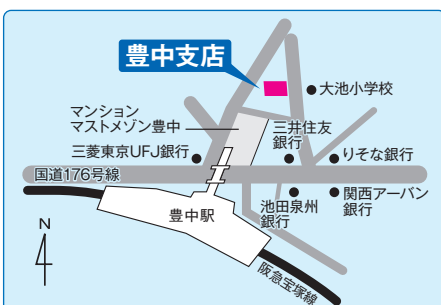
■ 城東支店



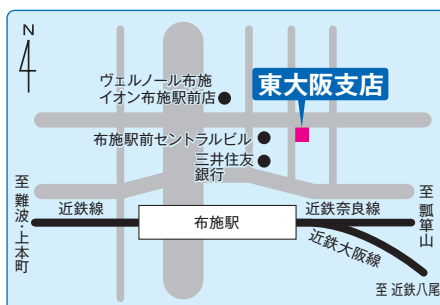
■ 新大阪支店



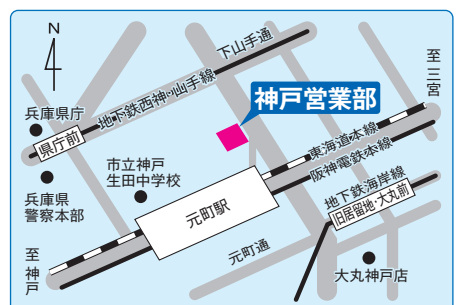
■ 豊中支店



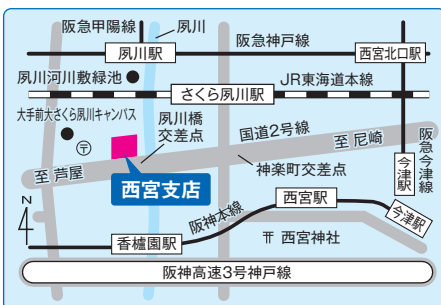
■ 東大阪支店



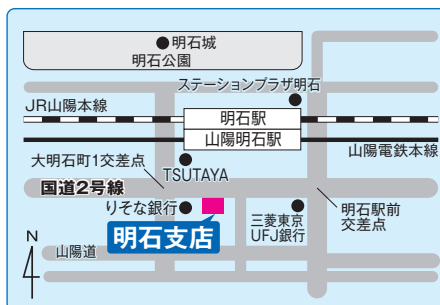
■ 神戸営業部



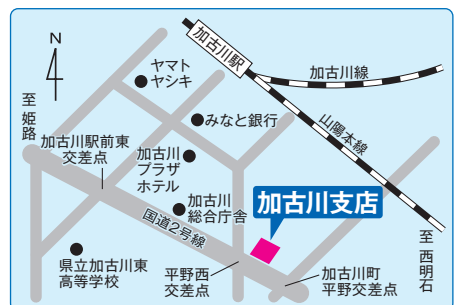
■ 西宮支店



■ 明石支店



■ 加古川支店



- 本 部・・・〒542-0073
- 本 店 営 業 部・・・〒542-0073
- 扇 橋 支 店・・・〒530-0041
- 住 吉 支 店・・・〒559-0006
- 阿 倍 野 支 店・・・〒545-0052
- 城 東 支 店・・・〒536-0016
- 新 大 阪 支 店・・・〒532-0011
- 豊 中 支 店・・・〒560-0021
- 東 大 阪 支 店・・・〒577-0056
- 神 戸 営 業 部・・・〒650-0012
- 西 宮 支 店・・・〒662-0961
- 明 石 支 店・・・〒673-0892
- 加 古 川 支 店・・・〒675-0063

- 大阪府大阪市中央区日本橋2丁目9番18号
 大阪府大阪市中央区日本橋2丁目9番18号
 大阪府大阪市北区天神橋3丁目8番12号
 大阪府大阪市住之江区浜口西3丁目11番4号
 大阪府大阪市阿倍野区阿倍野筋2丁目4番43号
 大阪府大阪市城東区蒲生2丁目9番10号
 大阪府大阪市淀川区西中島5丁目14番22号
 大阪府豊中市本町1丁目9番35号
 大阪府東大阪市長堂2丁目1番8号
 兵庫県神戸市中央区北長狭通4丁目4番18号
 兵庫県西宮市御茶家所町2番15号
 兵庫県明石市本町1丁目2番31号
 兵庫県加古川市加古川町平野字分木192番5

- ☎ 06(6644)6101
- ☎ 06(6644)6321
- ☎ 06(6351)8171
- ☎ 06(6674)3681
- ☎ 06(6622)1500
- ☎ 06(6935)5544
- ☎ 06(6101)1515
- ☎ 06(6850)2845
- ☎ 06(6788)8080
- ☎ 078(331)9904
- ☎ 0798(33)4554
- ☎ 078(912)0707
- ☎ 079(423)5877